

正式名称と分類	凸版印刷㈱安全道場（写真-1） 擬似体験
場所とアクセス	川口市弥平 4-7-1 JR 川口駅から路線バス 30 分
展示および体感内容	1. 体感設備 以下の体験設備がある。これらの内、印刷機械の事故防止（事故の 40%を占める）を目的とした設備が、①②③である。この他に、ヒューマンエラー体験装置、階段でのトラブル（足の踏み外し他）等の特徴ある体験設備がある。 これらの設備は、HH（ヒヤリハット）事例、労災事故例、設備のトラブル例から関係者で議論し、設置したとのこと。道場と名付けたのは、人の道を修行することにつながっていること、道場破りを歓迎、術を磨く場という考え方から道場としたとのこと。 ① ローラーの巻き込まれ 手を入れて体験（写真-2） ② Vベルト/チェーンの巻き込まれ 割り箸で体験（写真-3） ③ 刃物の巻き込まれ 手袋で体験（写真-4） ④ ヒューマンエラー体験装置 “人は忘れる、間違えるという性質があり、この種のエラーを指差し呼称の励行で少しは低減できる”ことを体験する装置。2次元（X,Yの軸）で表現された位置の数字を10個、ランダムに限られた時間内に指示され、その場所を正確に指差し呼称して押す場合と呼称をしない場合の正答数の差を体感する装置。 ⑤ 手洗い評価キット きちんと手洗いができていないことをハンドウオッシュで特殊のローションを用いて体験 ⑥ 火災のビデオ（同社上海工場では樹脂をコーティングしている時の実際の火災事故のビデオ） ⑦ 静電気 集電ボールに帯電させ、漏電チェッカーとして安全靴（漏電しやすい靴、スリッパ）で体験、また排気ダクトでのダクトを効かしている時と効かさない時の静電気による引火火災の体験 ⑧ 蛸足配線による火災 ⑨ トッラッキングによる火災 ⑩ 階段での事故（写真—5） 路面、蹴りあげの寸法の違い、手すりの形状の違い、段鼻をノンスリップにする、しない等いろいろな体感ができ

る。

2. 本社が薦める安全グッズの展示紹介

安全靴、ヘルメット、イオサイザー（クリーンルームへ入る時の帯電防止設備）、安全な定規、曲がり角などでぶつかりそうなHHが起きそうな場所用の鏡

3. 壁の掲示板 10 枚の内容

① 安全衛生法の抜粋

② 災害のメカニズムとその防止策

ハインリッヒの法則、4 M（Man, Machine、Material, Method, Media, Management 他）管理、指差し呼称、指差し唱和、KYT（危険予知トレーニング）、リスクアセスメント

写真-1



写真-2



写真-3



写真-4

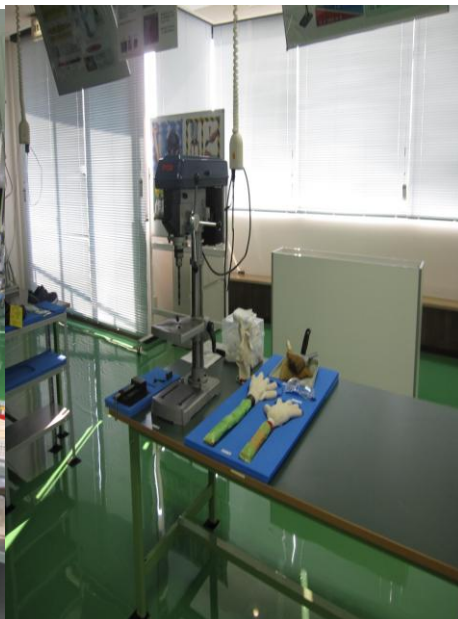


写真-5



ここがお勧め！

上記 1. 体感設備の④と⑩ この体感資機材は、今迄見学した企業には無いもの。特にいずれも事務系を含め体感研修に有用と実感した。

感想など

- ①2011 年 10 月に安全担当の役員の発意で設置された。大きな事故が起きたことが契機では無い点にびっくり。
- ②現在は、在京の工場及び技術者の研修の場として活用。
それ以外の全国の工場（北海道から熊本）には、同じ安全

	体験施設をキャラバン隊が持参し、安全体験教育を実施中とのこと。 ③体制 研修センターの中に置き、定年退職した技術系 OB が道場の“師範“として新任の管理者、監督者、オペレーターに教育。工場では、師範から教育を受けた準師範が安全担当者として教育を担当。
公開状況	社員教育用であるが、一般の研修も受け入れる（ただし、実費）
URL、運営主体、問い合わせ先	トッパングループ安全道場師範 048-225-5364
ここもお勧め！	鋳物の街 川口市
見学記録作成者名と日付	中田邦臣 2013 年 6 月 18 日 記